



# 地域医療連携室だより

Community Healthy Network News

共に診る・共に支える地域医療



## 循環器内科の活動について

平鹿総合病院 循環器内科

診療部長 武田 智

心臓病には、迅速な対応が必要な病気が多くありますが、その代表が、心臓の血管が閉塞してしまう急性心筋梗塞です。当院は、心筋梗塞の治療の中心である緊急カテーテル治療(細い管を用いて閉塞している血管を再開通させる治療)を多く施行しています。そのため『発症→近隣の医療機関受診→紹介→カテーテル治療』の時間短縮に取り組んできました。一つは、緊急PHSのシステムです。その日の緊急カテーテル担当の医師に専用電話を持たせ、近隣の先生方からの連絡に直接対応できるようにしています。また、短時間で記載できる穴埋め形式の専用FAX紹介用紙も作成しました。今後は、これからさらに発達する情報通信技術も積極的に利用し、より円滑な連携を行っていきたいと考えています。皆様からのご意見もよろしくお願いいたします。

日々院内で頑張っておりますが、本年8月には日本心血管インターベンション治療学会(CVIT)の東北地方会を開催しました。当院職員も多数スタッフとして参加し、充実した学会となりました。東北の心臓治療の進歩に「病院として貢献できた」と自信を深めていきたいと思っております。

引き続き、地域から求められる循環器診療をより高いレベルで提供できるよう努めてまいりますので、今後もよろしくお願いいたします。

|     |                          |   |
|-----|--------------------------|---|
| もくじ | 循環器内科の活動について.....        | ① |
|     | 連携医療機関・保険調剤薬局のご紹介.....   | ② |
|     | 連携フォーラムひらか・看看連携交流会.....  | ③ |
|     | 共同利用施設(高度医療設備)の利用状況..... | ④ |



ゆあさ整形外科クリニック  
院長

湯浅 勝則

## 患者さんの気持ち

市内に整形外科クリニックを開院して19年になります。メスを置きたくなくて、週一回簡単な日帰り手術を行なっています。外来患者さんの多くは保存療法で対応することが出来るのですが、中には入院治療が必要な方もいます。稀に緊急対応が必要と思われる方が受診することもあります。そんな時頼りになるのが近隣の病院です。この地域には以前から『県南整形外科医会』という集まりがあり、出身大学の垣根を超えたつながりがあります。県外から来た私もそのお陰で各病院の先生方と顔見知りになり、患者さんの依頼もスムーズに行うことが出来ています。病院から軽症の方を紹介して頂くケースも多くなって来ました。病診連携がうまく機能していることに感謝しつつ日々の診療を行っています。

私事になりますが、昨年末の検診で心電図異常が指摘され、平鹿総合病院で精査して頂きました。患者として訪れる病院はそれまでと全く違う景色でした。医師の言葉はもちろんのこと職員の言動にも敏感に反応している自分に驚きました。患者は想像していた以上にナーバスになってしまうものなのだと思い知らされました。私は平鹿総合病院で親切に対応して頂きましたが、翻って自分自身のクリニックでの患者さんへの対応はどうであったかと深く反省させられました。今回の経験は、『患者さんの気持ちになって診療する』という初心を思い出させてくれる良い機会になりました。



平鹿調剤薬局 中央店  
保険薬剤師

岡本 寛巳

## 退院時共同指導から在宅訪問へ

### 安心できる在宅医療をサポートします

平鹿調剤薬局中央店の岡本と申します。地域の皆様には大変お世話になっております。当薬局では外来患者様の処方箋調剤だけでなく、在宅で療養されている方の薬剤管理にも関わらせていただいております。さらに当薬局では注射剤の調整を行う無菌施設も備えており、幅広い患者様に対応が可能となっております。このような在宅医療の取り組みが特に広がり始めて数年が経過しておりますが、患者様の状態や生活環境などの情報がないまま訪問を開始しなくてはならない場合もありました。患者様の情報を得る事や多職種の方との連携というのが1つの問題だったと思われれます。最近では当店でも「退院時共同指導」に積極的に参加し、患者様の退院後の生活や問題点について多職種で話し合いを行っています。これは情報共有だけでなく、患者様やご家族を含めた関係者が顔を合わせることで「顔の見える関係」作りに繋がり、さらに患者様やご家族に安心感を与えると思われれます。

「退院時共同指導」を計画し情報共有や多職種連携の場を作っていただき、我々保険薬局の薬剤師も、患者様の療養生活を守る一員として皆さんと連携し協力していけるよう、より一層努力して参りますので、今後よろしくお願い致します。

## 第8回 連携フォーラムひらか

今年度も地域医療機関との病診・病病連携の推進・強化を目的に、「連携フォーラムひらか」を開催いたしました。

今回は、当院から、心臓病患者教育のためのDVD作成や糖尿病専門医が少ない県南地域での医療連携の重要性について、また八木橋医院の塚本茂樹先生から、地域から見た当院の実情や当院に対する要望等についてご講演いただきました。逆紹介の推進や紹介患者のスムーズな受け入れ、紹介患者に対する速やかな返書・治療経過の報告等、貴重なご意見を今後の病診連携に反映していきたいと思っております。

日時 令和1年6月28日(金)18:30～  
場所 横手セントラルホテル ラポート  
参加者 地域医療機関の医師 22名  
院内関係者 39名 計61名



平鹿総合病院  
看護主任  
鍛冶 優子さん



平鹿総合病院  
科長  
三ヶ田敦史医師



八木橋医院  
院長  
塚本 茂樹医師

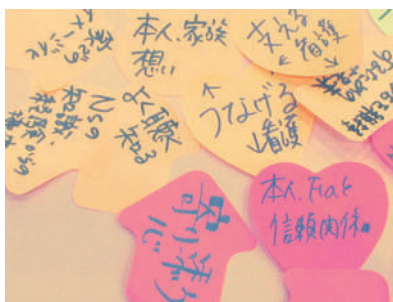
### プログラム

1. 開会挨拶 平鹿総合病院 院長 齊藤 研
2. 講演
  - ・心臓病患者教育サポート  
～多職種連携平鹿オリジナルDVD～  
平鹿総合病院 心臓リハビリテーション指導士  
看護主任 鍛冶 優子
  - ・糖尿病医療連携について  
平鹿総合病院 消化器・糖尿病内科  
科長 三ヶ田敦史
  - ・そんな、開業医のひとりごと  
～外野スタンドから観て思うこと～  
八木橋医院 院長 塚本 茂樹
3. 意見交換
  - ・胃ESD地域連携パスについて  
平鹿総合病院 消化器・糖尿病内科  
診療部長 堀川 洋平



## 第3回 看看連携交流会

今年度も、在宅療養患者のQOL向上と看看連携の強化を図るため、看看連携交流会を開催いたしました。今回は当院の退院支援専従看護師より、がん終末期にある独居患者さんについて、不可能と思われた自宅療養が親族の協力と地域の多職種の支援により可能となり、最期まで本人が望むご自宅で過ごすことができたという報告がありました。



交流会では、在宅でのケアを担当した訪問看護師から自宅療養の様子や支援の状況を直接伺うことができ、訪問看護師の役割の大きさと看看連携の重要性を改めて実感しました。

ワールドカフェでは、在宅療養支援について当院の看護師と在宅側の訪問・施設看護師が自由に語り合い、「自分の想いを整理できた」「楽しかった」「リフレッシュできた」等の感想をいただきました。

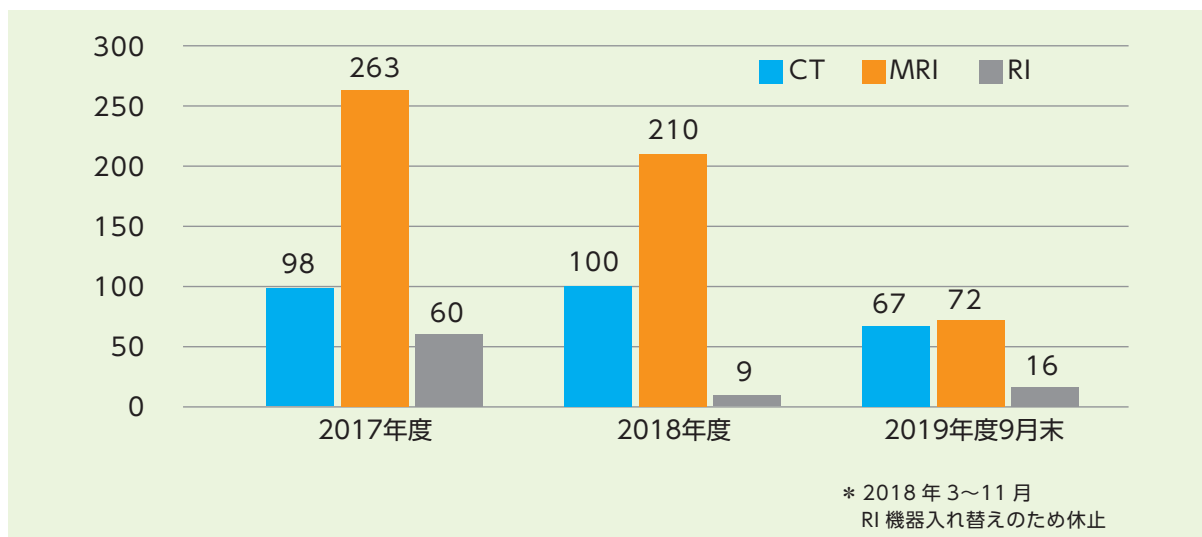


日時 令和1年8月30日(金) 17:30～19:00  
場所 平鹿総合病院 講堂  
テーマ 患者さんが自分らしく地域でくらすために  
～語り合おう! 私が在宅療養支援で大切にしている看護～  
対象 横手市内の訪問看護ステーション、介護福祉施設  
に従事する看護師、平鹿総合病院看護師  
参加者数 院外 8名 院内 30名 計38名

### プログラム

1. 当院の退院支援の紹介  
「自分らしく過ごしたい場所で暮らすために!!  
～安心をつなぐ退院支援～」  
平鹿総合病院 入退院支援センター  
退院支援専従看護師 佐藤 泰子
2. ワールド・カフェ  
テーマ  
「私が在宅療養支援で大切にしている看護」

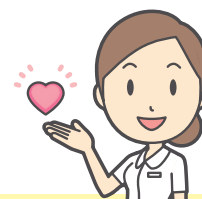
## 共同利用施設（高度医療設備）の利用状況



日頃より、高度医療機器をご利用いただきまして誠にありがとうございます。  
患者さんが安心して検査を受けることができるよう努めてまいりますので、  
今後ともよろしくお願いいたします。

### 患者紹介に関するお願い

日頃より、当院へご支援・ご協力をいただきありがとうございます。  
ご紹介の際は、下記へご連絡いただきますようお願いいたします。



紹介患者診療予約の申し込み

地域医療連携室

TEL. **0182-45-6012** (連携室直通)

FAX. **0182-32-0698** (連携室専用)

※外来診療申込書と診療情報提供書をFAXにてお送りください。

救急搬送の依頼

希望する診療科の当番医へお電話ください。

TEL. **0182-32-5121** (代表)

FAX. **0182-32-0649** (救急搬送対応)

※急性心筋梗塞や急性冠症候群が疑われる場合

**緊急心カテホットライン PHS 070-6498-5960**

### 地域医療連携室スタッフ

室長 高橋 俊明  
副室長 榎本 好恭  
医事課長 橋 善幸  
看護師長 大日向久美子  
看護主任 大沢 知佳  
事務 中嶋 秋子

病院住所 / 〒013-8610 横手市前郷字八ツ口3番1  
TEL / 0182-32-5121 (代) FAX / 0182-33-3200

[地域医療連携室連絡先]

● 地域医療連携室

TEL : 0182-45-6012 / FAX : 0182-32-0698

● HP : <http://www.hiraka-hp.yokote.akita.jp/>